

介護体験を 聞く会



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第160号

平成27年6月27日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-233-0061

*定例会は最終土曜日です。

(今月は4月25日)です

第161回 介護体験を聞く会

平成27年5月30日
(土)に開催

***議題①**
Aさん(喘息を持ちつつ、介護サービスをご利用される。79歳)の事例検討

②在宅介護家族相談会
③グループホーム運営推進会議

参加者

職員 院長 柳田CM
古谷 厚川 前田 漆原
高橋 桜沢 柏倉 梅本
家族・阿部さん 石田さん
柳澤さん 菊地さん
藤田さん 野々目さん
森下さんご夫婦
関係者・高橋さん 多田さん 飯嶋さん

*Aさんの事例検討

氏名…Aさん 男性(79歳)
生年月日…昭和11年1月6日
介護度…要介護3(週4回ご利用)

利用開始日…平成25年1月13日から柳田デイサービスご利用
出身地…鹿児島県内之浦
趣味…以前はよくバス旅行に出掛けた
性格…穏やか、いつも笑顔(昔は職人気質な面もあった)
主介護者…妻・息子夫婦

*既往歴

30歳の頃 喘息発症
心臓カテーテル手術
平成23年 大腸癌
平成24年 前立腺肥大
認知症と診断、

検査の結果「進行性核上麻痺」と診断される
平成27年自宅ベッドから転落し、右手親指骨折

*内服薬

ユリーフ錠4mg
レバミピド錠100mg
ドネペジル塩酸塩錠5mg
ニコランジル錠5mg
ニフェジピン徐放錠
ドキサゾンメシル酸塩錠
メマリ―錠20mg
ファモチジン20mg
喘息用吸入器

*生い立ち

昭和11年1月6日、鹿児島県内之浦に生まれる。中学校卒業後、和菓子職人になる為、「宮崎菓子店」「川崎和菓子店」で修業される。昭和43年、暖簾分けを



煮干し削り体操

して現在の藤崎店を開業される。その後、鋼管通りに本店・工場・自宅を移転される。平成24年、認知症の症状が始め検査の結果「進行性核上麻痺」と診断される。言葉が出づらくなったり、思った事と逆の事を言ったり、オウム返しをする様になられる。「いる?」と訊くと「いる」と答え、「いない?」と訊き直すと「いない」と答える。平成25年1月から柳田デイサービスを利用開始される。週1回から始めて週2回に増やし、現在は週4回ご利用されている。

*自宅での様子

テレビを座って見てもらったりして、寝てばかりの生活にならない様にされている。食事の時は、極力介助せず出来る限り自分で食べられる様に、箸やスプーンを渡したり声掛けをする程度にとどめています。自宅での入浴は難しくなってきましたが、デイサービスでの入浴が無い日には息子さんやお孫さんの協力が入浴されています。立ち上がり・着席・歩行動作など全体的にふらつきがあり転倒の危険が高い為、足元に物を置かない様に注意されています。

*デイサービスでの様子

◎会話
自発的な発語は殆ど無く、質問に対して「大丈夫」「トイレ」と云った単語レベルでの返答が主です。◎理解力 周囲からの声掛けにはほぼ理解可能です。動作についての指示にはその通りに動けない事もあります。理解が



田植え体験

難しいからなのか、判

ていても体が動かないか
らなのか、意思表示が難
しい為に判別が困難です。

◎歩行 室内は単独歩
行可能です。ふらつきが
あり転倒の危険がある為、
近位見守りが必要です。

◎食事 スプーンを使
用しての自立ですが、お
かずは食べ易い様に一口
大に切り、職員がご飯の
上に乗せています。喘息
でむせる事もあり、職員
が見守りながら適時声掛
けを行っています。

◎排泄 着脱衣はほぼ
自立です。若干の乱れは
職員が整えています。失
禁は無く自ら「トイレ」
と言いつ席を立つ事あり
ます。立ち上がり・着席
動作中は見守りです。

◎入浴 体力の低下を

考慮して半身浴にして頂
いています。洗髪や洗体
は、シャンプーやたわし
を渡すとご自身で行って
います。

◎着脱 脱衣は、袖が
引つ掛かると力づくで脱
ごうとする事があり一部
介助です。着衣は、前後
ろを確認して順番に職員
が手渡すと自分で着る事
が出来ます。

◎送迎 送迎車の乗降は、踏み
台を使用してゆっくりと
行っています。転倒の危
険がある為、要見守りで
す。

*個別機能訓練は週4回、
入浴は週2回実施してい
ます。朝の会では、体調
が良い時には集団の輪に
加わり体操を行って頂き
ますが、集団の人数が多
かったり体調が優れない
時には、少し離れた席か
ら参加して頂いています。

司会のスタッフや他の
利用者様の話しをしつか
りと聴いていて、冗談に
大笑いする事もあります。
歌の時間では、童謡や唱
歌をはつきりと大きな声
で歌われる事があります。
午後になると疲労からか

傾眠される事もあり、

13時から14時頃はゆつ
たり座れる椅子かベッド
で休まれています。創作
の時間には、スタッフが
様子を見つつ声掛けを行
い「やる」とおっしゃた
り、席を移動された際に
輪に加わって頂いていま
す。昔の仕事の経験から、
おやつ作りはもちろん、
手作業は得意で、作業工
程を理解されると積極的
かつ丁寧に作業して下さい
ます。

疲労が大きくなると喘息
の発作が酷くなつてしま
う為、1時間を通しての
参加は難しく、30分程
度で輪から離れて休息し
て頂く事も多いです。

問題点と解決への取組み

今月(5月)に入り喘
息の発作が強い日が増え
ています。季節の変わり
目かご本人様の体力低下
か特定は出来ていません。
大笑いされた拍子に大き
く咳込んで呼吸困難とな
り、数秒間ですが意識消
失された事もありました。
食事中や食後にむせると
なかなか治まらない為、

食前に吸入器を使用して
います。ご本人様の発語
が難しく、体調や疲れ具
合の意思表示が難しい状
態です。解決策として、

疲れすぎない様に入浴日
は朝の会や創作への積極
的な参加を控えて頂いた
り、入浴が無くて朝の
会に充分参加された日に
は昼休みにベッドで休ん
で頂いたり、ご本人様
の様子を見ながら活動量
を調節して行きます。質
問への返答がオウム返し
ではないかを注意しながら
ら意思確認を行います。
個別機能訓練では、バラ
ンスの訓練を中心に行っ
ています。体が後傾しが
ちな為重心を前に意識
しての立ち上がり動作を
お願いして、下肢筋力の
維持・向上も目指してい
ます。ご自宅の2階にあ
る自室に行ける様に階段
昇降の訓練も行っており、
在宅生活が継続出来る様
に支援して参ります。い
ずれの訓練も、動きに合
わせたタイミングで呼吸
して頂く様に指示・声掛
けを徹底して行います。
ご家族の意向として「今
の状態から良くなる事は

難しいと思うし、今のま
まで維持していければい
いかなと思います。自分
で出来る事は、出来るだ
け自分でやって欲しい。
認知症になると怒り易く
なったり暴力的になつた
りする人もいると聞くけ
ど、うちの人は笑つてば
かりいるから良い方かな
? と思います。」との事
でした。

柳田CM いつも笑顔で
いらして。

奥様…言葉は出ないが、
嫌な事は顔に出ます。先
日は後ろに倒れました。
柳田CM この病気の特
徴で、後ろからの介助が
常識です。

奥様 デイサービスを学
校と言つて行っています。
院長 脳のMRは撮り
ましたか?

奥様 右脳がやられてい
るとの事でした。
又、医者に薬を強くす
るかとか聞かれましたが、
もう数種類の薬を飲んで
いるので、家族としては
今のままで良いと思いま
す。

院長 喘息がある為、体
調管理が難しいですね。
奥様 喘息用では、ステ



グループホーム誕生会

ロイド系の強い薬を飲んで

院長 強い薬の多用は良くないし、発作が発作を呼ぶ事もあります。

院長・漢方(五虎湯)を試してみても? デイサービスで1日2回飲ませてみましょう。

奥様 川崎に来てから喘息になりました。喘息で入院もある。死ぬ1歩手前でした。

院長 身体的病氣と認知症の両方があると本当に難しい。

奥様 デイサービスにいる間は、家族も安心して

柳田CM 心臓カテーテル手術とありますが?

奥様 狭心症の発作でカテーテルを挿入しました。

院長 現代医学は、肺なら肺・心臓なら心臓とそれしか診ない。

柳田CM おかしい(認知症)と思っただきっかけは?

奥様 4・5年ぐらい前から変化があったと思う。汗をびっしょりかきながら、一生懸命にお菓子を包装しようとするが全く出来なかつたと、お客さんである近所の方が教えてくれました。

在宅介護家族相談会

(事例検討から引続き)

奥様 歌が好きで、「さざんかの宿」は全部歌います。(参加者一同、驚く)

森下さん なぜ後ろに倒れるのでしょうか? 母が後ろ向きで階段を降りる為、心配です。

院長 小脳がやられると、その様な傾向が出ます。

古谷 顎が上がり、重心が後ろになるからだと思います。

柳田CM 後ろに倒れない為に、前に両手を伸ばすリハビリも行っていきます。

菊地さん 母は落ち着きました。最近父が心配です。肺に水が溜まっている様です。

森下さん 連休明けに母が体調を崩しました。親戚回りで疲れたのが原因なのでしょうか? 食欲が無くなり、表情が険しくなりました。被害妄想も出て「私が家に居たら邪魔なの?」と言われてしまいました、ドキッとしました。

院長 判断する事が出来なくなる事が不安になる。親戚回りで脳を酷使させてしまったのかもしれない。

野々目さん (姉には) 毎日デイサービスに行つて欲しいが行きやしない。同じ物ばかり買つて来るし、私には文句ばかり。見た目には姉が認知症と判らないのが、私にとつて辛い。けど先日、左手に財布を持って右手に櫛をもって、頭に帽子を被っていたその上から櫛を当てていた。

院長 お姉さんの顔を立てながら、実際は野々目さんが仕切っている。この状態が良いのですよ。

柳田CM 5月には今ま

で不可能だったお姉さんのショートステイ(1泊)が出来ました。これを更に伸ばして、野々目さんがストレスを減らせる様にしたいですね。

野々目さん 旅行に行きたい。

院長 人間の人間たる所である前頭葉がやられるのが認知症です。(この後、資料を基に前頭葉について講義がありました)

グループホーム運営推進会議

外部評価アンケートの結果について

昨年度、外部評価のアンケートにご協力下さいましてありがとうございます。結果を送らせていただきました。グループホームとして今後改善して行く事が多々あると思います。目標達成計画書を作成し確実に実行して参りたいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

新しい入居者のご案内

6月1日より、柳田診療

所デイケアご利用中の本間ミエさんが入居されました。(グループホーム漆原)

「グループホーム 回想法」

私たちの施設では認知症の予防に回想法を取り入れています。

回想法とは、利用者の方と話をすることで、昔の写真や昔使った道具やおもちゃなどを使って過去の懐かしい思い出を話してもらふことです。

回想法の目的は、回想法を通して利用者の方の心の安定や、生活する上での支えや生き甲斐を通して職員との馴染み関係や信頼関係を築いていくことです。

また、話の中でいろいろな昔の出来事を考えながら話すことにより脳の活性化を図り精神状態を安定させること。

そして、利用者の方の今までの人生経験についてお話を聞かせてもらう中で、利用者自身が話す満足感と生き甲斐を感じてもらおうと共に、介護する

職員が利用者からいろいろなことを学び、今後の介護に生かしていくことです。

回想法を通じて利用者の方から職員が教わることはたくさんあります。たとえば今では見ることも無くなった農作業に、とう道具。何に使うのか、どうやって使うのか、想像もつかないような物もあります。利用者の方によく使われ、実際に使った話、その時に苦労した話などいろいろと思いついて出てきます。他にも昔駄菓子屋で何を買って食べたとか、五右衛門風呂に入った話などたくさん話して下さいます。そして職員がもっとも勉強になるのは戦争の話ではないでしょうか。川崎での空襲の話や疎開先での話、さらに戦地で戦った話など、実際に戦争を体験し生き抜いて来られた方々から直に話を聞く機会はなかなかありません。

ばと思います。

グループホーム旭町 漆原

新入職員紹介

平成二七年四月より太田主任の後任としてデイケア室に勤務となりました。「杉山 民」です。3月末までの2年間は四万十川で有名な高知県に住んでいましたが、その前は柳田診療所の窓口で保険請求事務をしたり、デイケア・デイサービス・グループホームで利用者さんと過ごさせて頂いたりしたこともありました。また、高知県での2年間は小規模多機能型居宅介護のデイサービスにて勤務しておりました。久しぶりに戻ったデイケア室では二年ぶりにも関わらず憶えていて下さった方もおり、とても懐かしい顔ぶれにホッと致しました。

デイケア室での経験はまだまだ少ないのですが、認知症をはじめ様々な疾患・障がいを持たれる利用者さんと関わらせて頂く際には、次の言葉を常に心に思いながら過ごして

ています。

「子供笑うな来た道じや年寄笑うな行く道じや」

幼い子供が騒がしくしていたり、歩行がゆっくりな方や話すことが難しい人等との関わりが億劫に感じたとしても、実は自分自身もかつては同じように騒がしく、また、いつかは歩けなくなったり話せなくなったりすることがある。だからこそ、デイケア室でその日その時に縁あって共に時間を過ごすことになった方々とは、関わりの少ない利用者さん同士でも互いに労わったり、時には張り合ったり(?)しながら様々な刺激を受け、来ているといつの間にか体も頭もリハビリになっていった。と思えるような環境を作っていきたいと思えます。

最後になります。利用者さんやご家族さんと共に刺激をしあって介護・看護・リハビリのお仕事を一緒にして下さる方・ボランティア等に興味があるけれども一歩が踏み出せない方、是非でご連絡下さい。

(連絡先) 〇四四二四六七〇
九〇 デイケア室 杉山まで)



平成27年度介護報酬改定について

今回の法改定では、生活期リハビリテーションが果たすべき役割と「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかける「高齢者の地域におけるリハビリテーションの新たな在り方」を再整理することが求められていると指針を挙げています。

通所リハビリテーションではまず、個別リハビリテーション実施加算が基本報酬の中に包括化されました。その趣旨を踏まえ、利用者の状態に応じて個別にリハビリテーションを実施することが望ましいと言われている。柳田デイケアとしては現状、すべての利用者さんに今までのように個別でのリハビリテーションを20分以上提供して

いくのはとても難しいので、その方の身体状況に合った個別でのリハビリの提供をしていきます。

次に各加算について、柳田デイケアとしては「リハビリマネージメント加算Ⅰ」「中重度ケア体制加算」については、全ての利用者さんに算定されます。退院明け、初認定の方には「短期集中個別リハビリ加算」が算定され、退院日、初認定日より起算して3ヶ月間40分の個別でのリハビリを行います。また、ご希望の方には「リハビリマネージメント加算Ⅱ」の対応も行っております。これは新加算で、自宅での生活動作を獲得するために理学療法士・作業療法士がご自宅に訪問し直接ご家族に指導・アドバイスをさせていただきます。その他に重度療養管理加算も対応しており、要介護3、要介護5の方で算定要件の条件を満たす方には適用されます。ご不明な点がございましたらいつでもご連絡下さい。

前デイケア主任 太田